

2025 年 3 月改定版 変更部分のみ抜粋

大会カテゴリーの変更

QS1000 ポイントは 2000 のもの

QS3000 ポイントは 4000 のもの

QS5000 ポイントは 6000 のもの

登録費、エントリー費及び APAC の保険料に関する変更はない

10.02 ヒートタイム

(g) ヒートリスタートの場合、5 秒のカウントダウンの後、設定されたヒートリスタート時刻にサイレンまたはホーンが 1 回鳴り、自動的にヒートがリスタートされる。

もしサーファーがカウントダウン中に波に向かってパドリングし、テイクオフを試み、サイレンまたはホーンが鳴り始める前にレールから手が離れた場合、そのヒートは元の時間から続行され、サイレンまたはホーンが鳴ってもリスタートは行われない。

ビーチアナウンサーは可能な限り早くタイムコールを行い、サーファーに情報を提供する。

コミッショナーの代表または WSL ツアー代表は、ヘッドジャッジと連携し、ツアー・コンペティション責任者あるいはヘッドジャッジは、時間制限のため、イベント開始前にイベントでのヒートリスタートがないことを宣言することができる。

(h)ヘッドジャッジは、ヘッドジャッジの合理的な見解において、またジャッジパネルと協議した結果、ヒート中のサーファーが得点の可能性のある波を逃したり、見逃したりしていると判断した場合、またはヒート中のサーファーがラインナップの中で位置から外れ、得点の可能性のある波を逃していると判断した場合、ヒートのリスタートを行わないことを宣言することができる。

11.08 パドリングインターフェア

(d) 現在行われているヒートのサーファーが、次のヒートに向けてパドルアウトするサーファー、または終了したヒートからパドルインするサーファーと接触したりニアミスが発生し、その波に乗っているサーファーの得点の可能性に悪影響を与えた場合（ヘッ

ドジャッジとジャッジの過半数が、その接触やニアミスが結果に影響を与えない波で発生したと判断した場合、インターフェアのペナルティやリサーフの可能性はない)、以下のことが適用される:

(i)パドルアウトまたはパドルインするサーファーが、波に乗っているサーファーのライン上から回避できない場合、ペナルティはない。

(ii)パドルアウトまたはパドルインしているサーファーが、波に乗っているサーファーと偶発的に衝突またはニアミスを起こした場合、ヘッドジャッジと過半数のジャッジによって、インターフェアランスペナルティをコールする、あるいはリサーフの可能性を検討する。

インターフェアランスペナルティを課すかどうか、またリサーフの可能性を考慮するかどうかの判断において、ヘッドジャッジとジャッジはサーファーの安全とサーファーの位置取り/回避努力を考慮する。インターフェアランスペナルティがコールされた場合、インターフェアランスペナルティ 1 が適用される。

(iii) ジャッジの過半数が、次のヒートのためにパドルアウトするサーファー、または前のヒートからパドルインするサーファーが、波に乗っているサーファーとの接触またはニアミスを故意に引き起こしたと判断した場合、パドルインまたはパドルアウトするサーファーに対してインターフェアランスペナルティ 2 がコールされ、リサーフの可能性が考慮される。このようなインターフェアを行ったサーファーには、規則 14.02 に基づく追加制裁が課される。

(iv) ジャッジの過半数が、波にライディングをしたサーファーが次のヒートに向けてパドルアウトしているサーファー、または前のヒートからパドルインしているサーファーと故意に接触を引き起こしたと判断した場合、波にライディングしたサーファーに対してインターフェアランスペナルティ 2 がコールされる。このようなインターフェアランスを行ったサーファーには、規則 14.02 に基づく追加制裁が課される。

11.10 一般的な優先順位

(i) 複数のピークや異なるプライオリティゾーンが利用可能な状況では、サーファーが選択したプライオリティゾーンに到着した時点で優先権が与えられる。利用可能な最後の優先権は、プライオリティゾーンに関係なく与えられる。

11.17 インターフェアランスペナルティ

11.19 プライオリティの使用 : サーファーがプライマリー・テイクオフゾーンの外で波に対してパドルを行った場合、プライオリティジャッジまたはヘッドジャッジの見解によってプライオリティを失う。